



新年のご挨拶

鹿児島市立図書館長 井上 佳朗



新年明けまして、おめでとうございます。

市立図書館は、昨年12月17日に開館35周年を迎えました。この間、人々の価値観やライフスタイルは多様化し、少子高齢化社会の影響が顕著になってきました。特に、デジタル社会の進展は、人々の読書スタイルにも大きな変化をもたらしました。

それらのことを念頭に、市立図書館ではここ数年、電子図書館の整備・充実を図り、同時に、市立の小中高校の全在学生に対して、電子図書館を活用するためのIDを付与してきました。またより多くの方に図書を届けるために、公民館やサンエールとの連携を強化してきました。

読書を趣味として楽しむと同時に、課題解決や市民活動の活性化に、本館をご利用頂ければ幸いです。私たち図書館員も、利用者の方の声に耳を傾け、本市における交流と課題解決の拠点としての魅力を、高める努力をして参ります。

利用者の皆様におかれましては、図書館利用を通じて、実り多き年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

移動図書館利用団体募集のお知らせ

令和8年度の移動図書館車による図書の巡回貸出サービスの利用団体の募集を行います。巡回期間は令和8年4月～翌年3月までです。

なお、募集要項条件に満たない団体は、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

募集期間：令和8年1月4日（日）～17日（土）【必着】

対象：利用世帯が30戸以上見込まれ、図書館（室）を利用しにくい地域で、移動図書館車が駐車できる安全な場所と雨天時に貸出などのできる場所がある団体地域

※詳しくは市立図書館までお問い合わせください。

「中学生ビブリオバトル」を開催しました！

12月21日（日）、「中学生ビブリオバトル2025」を開催しました。

市内の中学生5人がそれぞれの推し本をもって集合！！はじめは緊張の面持ちながらも、会場のあたたかい雰囲気になんげ緊張がほぐれ、それぞれが一生懸命にお気に入りの本を紹介しました。また、発表後には質問が飛び交い、一つ一つ丁寧に答える姿に、紹介した本をいかに好きかがひしひしと伝わってきました。

投票の結果、チャンプ本にはJ.K.ローリング/作、松岡佑子/訳の『ハリー・ポッター』シリーズ（静山社）が選ばれました。



1月の行事予定



日	曜	1月行事
10	土	キッズタイム「体験！バリアフリーの本」
11	日	図書館シネマ『天使のいる図書館』
17	土	図書館見学ツアー②
18	日	新春詩とおはなしの会
31	土	キッズタイムおはなし会(おはなし文庫がらがらどん)

- ★毎週木曜日「おはなしのじかん」
- ★第2・4金曜日「あかちゃん・幼児のためのおはなし会」

1月19日(月)～1月30日(金)

は特別整理期間のため、市立図書館と公民館図書室は**休館(室)**します。

- ※天文館図書館は開館します
- ※図書の返却は、ブックポストをご利用ください。

一般書貸出ベスト10



1	マスカレード・ライフ	東野圭吾
2	希望の糸	東野圭吾
3	クスノキの女神	東野圭吾
3	人魚が逃げた	青山美智子
3	職分	今野敏
6	コンビニ人間	村田沙耶香
6	平場の月	朝倉かすみ
6	ブラック・ショーマンと覚醒する女たち	東野圭吾
6	カフネ	阿部暁子
6	昇華(機捜235・3)	今野敏

- ※ 12月19日現在のものです。
- ※ ランキングの詳細は、図書館ホームページにも掲載してあります。

「開館35周年記念イベント～方言で楽しむおはなし会と屋台ゲーム」を開催しました！



市立図書館は、令和7年12月17日をもちまして開館35周年を迎えました。この記念すべき日を迎えることができましたのも、ひとえに、開館以来、変わらず当館をご愛顧くださった利用者の皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。深く感謝いたします。

さて、12月14日に「方言で楽しむおはなし会と屋台ゲーム」を実施しました。かごしま弁の読み聞かせやクイズを行ったり屋台ゲームでロケット投げや金魚すくい、忍者キャッチを行ったりしました。参加された方々の笑顔があふれ、会場全体が温かな空気に包まれました。最後に、特別ゲストの「おしりたんてい」も来てくれて一緒に35周年をお祝いしてくれました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

新着おすすめ本の紹介

古都琴子は好きに生きるので、あしからず

著者：汐見夏衛
出版社：スターツ出版
請求記号：F ㊦

高2の夏。森川涼風のクラスにトンデモ転校生・古都琴子がやってきた。「ザ・我が道を行く」タイプの琴子は、言いたいことを好き勝手言い、勝手に文芸部の部長になったかと思えば、無理やり涼風を巻き込んで・・・。

死神の精度

著者：伊坂幸太郎
出版社：文藝春秋
請求記号：BF ㊦

好きなものは音楽、嫌いなものは渋滞。死神・千葉は、人間の世界に溶け込み、7日間の調査で対象者の「死」に可否の判断を下す。死神と人の奇妙なかけあいが癖になる傑作短編集。著者のインタビューも収録する。

コーヒー2050年問題

著者：武田淳
出版社：東京書籍
請求記号：617.3

気候変動を前提とする時代に、コーヒーの生産現場では今、何が起きているのか。この危機に対してどのような対応策が取られつつあるのか。消費者には何ができるのか。コーヒー産地の視点からコーヒー2050年問題を考える。